

佐世保の宝「九十九島」

世界で認められた息をのむほど美しい湾、ルビーのようにキラキラ輝く景色。その島の数はなんと……
 九十九島湾は世界で認められた湾として、二〇一八年四月新たに加盟した。九十九島はひと目見ただけで感動をもたらしてくれる。そんな九十九島には魅力がたくさんある。

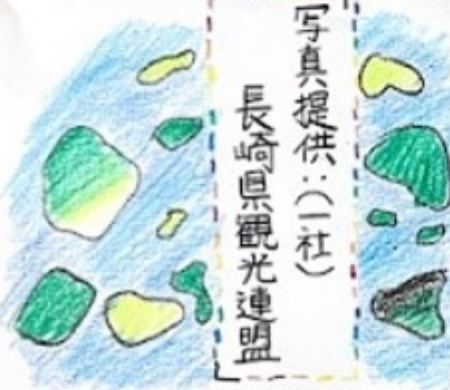


九十九島の魅力のつぼは、美しい景色だ。九十九の島の島の数は二〇〇日本島が密集しているエリアで、その数多くの島々を囲む海には、様々な海の動物たちが生息している。運がよければ水面から動物たちが顔を出してくれて、船から普段の絶景と可愛らしい動物が合わさった景色を見ることが出来る。

また、九十九島ではシカヤクというアクティビティを楽しむこともできる。まずシカヤクというのはカヤクという種類の船だ。九十九島ではその船を自分で漕いで無人島を目指すという体験がある。漕ぎ方に少しコツが要るが、ガイドさんもいるし、だんだん慣れにくるため、すこく楽しめる。

さて、九十九島では海の幸がたくさんこれる。特に牡蠣だ。島々や海域を囲むように連がる山々の森林から流れこむ栄養が命を育み、季節ごとの味わいをもたらしてくれる。小ぶりながら濃厚な旨味がたまりと詰ましている牡蠣は、まるで海のミルクのようだ。

このように、九十九島では大自然の中で美しい景色を見たり、シカヤクで無人島を目指すアクティビティを楽しんだり、おいしい牡蠣を食べたりと、様々な体験をすることが出来る。だから、九十九島は、佐世保の誇りであり、宝なのだ。みなさんも、行ってみたいはどうだろうか。



写真提供：(一社)

長崎県観光連盟

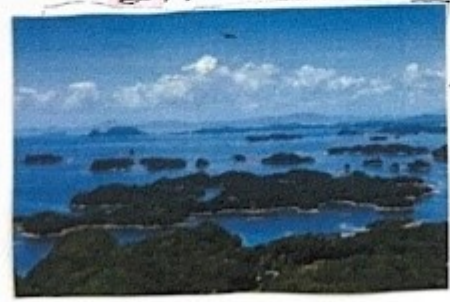


九十九島の魅力

トントントンと船を登る。ビュービューと風が吹いてこいい気持ちそして目の前に見えるのは——皆さん、九十九島を知っていますか。九十九島と聞くと九十九島という一つの島や九十九の島と思う人がいるだろう。本当は、市民ボランティアによる調査で二〇八の島があると確認されているのだ。そこで、九十九島の魅力を紹介しよう。

一つ目の魅力は、船に乗って回れることだ。九十九島にはパールクルーズという遊覧船がありチケットを買えば五十分間いろいろな島を回ることができるのだ。また、九十九島の島にはライオンが寝そべっている姿に見える横島や一つの島が真二つに割られたような形の割島など珍しい島がある。魚にもカブトが二つという絶滅危惧種も住んでいる。そして、九十九島の日という日もあるのだ。九十九島の日は九月十九日にある子どもたちには豊かな自然を永く受け継いでいきたいと一九九九年から定められたのだ。

このように、九十九島には、島を回る遊覧船、珍しい島、記念日、船かう島や地域と協力してできるイベントがある。だから、九十九島は佐保の宝なのだ。ぜひ、皆さんも九十九島に行ってみてほしい。写真提供 長崎旅ネット



佐世保の宝

笑っているたくさんの人、笑顔で接客する店員さん展示されている魚を見ようと

まず始めに海きらうとは30年前に開業された水族館です。海きらうにはクラゲを始めとする

約100種の生き物を展示していて国内最大級のクラゲの展示コーナーや外側大型水槽などがあり

楽しむことが可能です。また真珠の玉出し体験やバブグヤードツアーもあり水族館の隣にはお土産コーナー

などもありぬいぐるみやおかしが買えます。中にはある真珠の球出し体験ではストラップ

にしたリネックレスやイヤリングにし

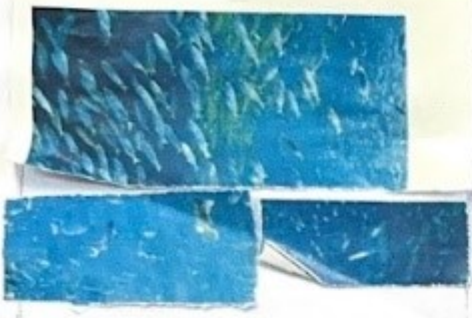
て持ち帰ることもできます。また子供が遊べる「あめもば」というところもあり

「あめもば」には遊具やパソコンゲームもありります。タッチウオッシュングという魚や貝などとふれ

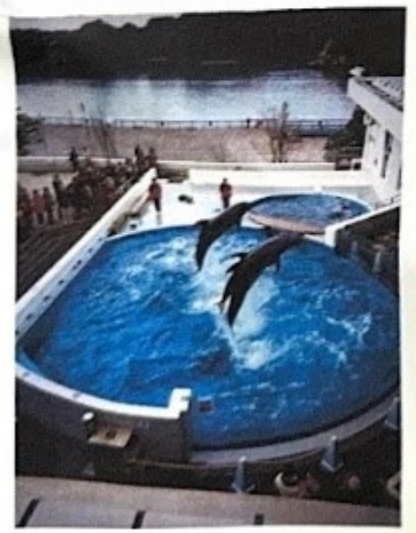
合えるところもあります。季節によって変わるラポコーナー(特別展示コーナー)もあります。

今紹介したように海きらうには、たくさんの魅力があり佐世保の宝の一つなのです。少しでも

行きたいと思ったり楽しそうと思ったりしたら、皆さんもぜひ海きらうに行ってみてくださいね



写真提供(一社) 長崎県観光連盟



九十九島の魅力

トントントンと船を登る。ビュービューと風が吹いてこいい気持ちそして目の前に見えるのは——皆さん、九十九島を知っていますか。九十九島と聞くと九十九島という一つの島や九十九の島と思う人がいるだろう。本当は、市民ボランティアによる調査で二〇八の島があると確認されているのだ。そこで、九十九島の魅力を紹介しよう。

一つ目の魅力は、船に乗って回れることだ。九十九島にはパールクルーズという遊覧船がありチケットを買えば五十分間いろいろな島を回ることができるのだ。また、九十九島の島にはライオンが寝そべっている姿に見える横島や一つの島が真二つに割られたような形の割島など珍しい島がある。魚にもカブトが二つという絶滅危惧種も住んでいる。そして、九十九島の日という日もあるのだ。九十九島の日は九月十九日にある子どもたちには豊かな自然を永く受け継いでいきたいと一九九九年から定められたのだ。

このように、九十九島には、島を回る遊覧船、珍しい島、記念日、船かう島や地域と協力してできるイベントがある。だから、九十九島は佐保の宝なのだ。ぜひ、皆さんも九十九島に行ってみてほしい。写真提供 長崎旅ネット

